

エネルギー地産地消 フォーラムin飛騨のご案内

参加無料
先着150名

<開催趣旨>

県では、平成28年3月に改定した「岐阜県次世代エネルギービジョン」に基づき、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギーの推進とともに、地域で創出した再生可能エネルギーを地域内で効率的に利用する「エネルギーの地産地消」の実現に向けて取り組んでいるところです。

こうした取組みについて「なぜ、自治体や地域の事業者が地域エネルギーの推進に取り組む必要があるのか?」「どうすれば、エネルギーを地域経済の活性化につながられるのか?」「効果的な政策は、どのように実現するのか?」など、エネルギーの地産地消をめぐる様々な疑問に対し、豊富な実務経験をもつ講師や全国の先進事業者が、実際の事例を紹介しながら解りやすく解説します。



日時

平成30年6月20日(水)

午後2時00分～午後4時00分 (受付 午後1時30分～)

会場

高山市民文化会館

4階 4-7大会議室 (高山市昭和町1-188-1)

基調講演：地域が中心となるエネルギー社会の形成

いぬい まさひろ

講師：シン・エナジー (株) 代表取締役社長 乾 正博 氏

会社概要：「生きとし生けるものと自然が共生できる社会を創造する」という経営理念のもと、再生可能エネルギーを活用した発電ビジネスを主とする会社です。

「エネルギー資源はその土地のもの」として位置づけ、エネルギーの地産地消を目指して、全国各地で地域資源を活用した再生可能エネルギーの開発に取り組んでいます。

今回は、さまざまな先進事例に触れながら、地域主導でエネルギー社会を形成していくうえでの課題やポイントをご紹介します。



先進事例紹介

- ①奥飛騨温泉郷における地熱発電の取組み (奥飛騨自然エネルギー合同会社)
- ②国府地域におけるバイオマス発電の取組み (飛騨高山グリーンヒート合同会社)

お申込み
は裏面へ

【お問合わせ先】岐阜県商工労働部新産業・エネルギー振興課 (担当：安藤)
TEL：058-272-8835 FAX：058-278-2653
E-MAIL：c11353@pref.gifu.lg.jp

奥飛騨自然エネルギー合同会社

飛騨高山グリーンヒート合同会社

【会社概要】

私たちは、地元の温泉協同組合とシン・エナジー（株）が共同出資して設立された会社で、奥飛騨地域の豊かな地熱エネルギーによる給湯事業と発電事業の共生に取り組んでいます。

今回は、2017年に開所した「奥飛騨第1バイナリー発電所」を中心に、地域主導によるエネルギー社会の取り組みをご紹介します。



【会社概要】

私たちは、2014年8月に設立された、飛騨地域の豊かな木材を活用した木質バイオマス発電に取り組む会社です。豊かな自然エネルギーを利用した発電や熱利用を進め、自然エネルギーの利用を地域振興や産業振興に活かすことで、持続可能な地域の実現を目指しています

今回は、高山市国府地域の「宇津江四十八滝温泉しぶきの湯」におけるバイオマス発電・熱利用の実証事業を中心に、エネルギー地産地消の取り組みをご紹介します。



エネルギー地産地消フォーラムin飛騨 参加申込書

名称 (会社名、団体名)				業種 事業内容		
参加者名	部署・役職				氏名	
	部署・役職				氏名	
連絡先	所在地（〒 - ）					
	TEL	（ ） -			FAX	（ ） -
	E-MAIL					
講演に対する 事前の質問						

【アクセス】



【公共交通機関でお越しの方】
JR高山本線「高山駅」から、
徒歩約10分

【お車でお越しの方】
東海北陸道「飛騨清見JCT」から
中部縦貫道へ、
中部縦貫道「高山IC」から
国道41号線経由で約20分

【申込先】岐阜県商工労働部新産業・エネルギー振興課

E-MAIL : c11353@pref.gifu.lg.jp

FAX : 058-278-2653

【申込期限】平成30年6月8日（金）